

**耐震診断・耐震改修マーク表示制度
 JASO 第1号交付**

財団法人日本建築防災協会・国土交通大臣指定耐震改修支援センターおよび既存建築物耐震診断・改修等推進全国ネットワーク委員会では、昭和56年以前の旧耐震基準によって建築された建築物で、耐震改修促進法の耐震診断の指針又は建築基準法の現行耐震基準に適合することが確認できた場合に、その旨を表すマークを記載したプレートを当該建築物に表示する「耐震診断・耐震改修マーク表示制度」を平成20年2月に創設しています。交付を受けた者は、プレートを当該建築物に表示することができ、プレートの交付を受けたことをホームページや印刷物に掲載することができます。

交付された建物は、平成22年6月30日現在で建築物が164棟、施設が44施設と発表されています。プレートの交付団体は、平成22年9月1日現在で26団体あり、JASOも交付団体となっています。

10月1日に、JASOでは第1号となる耐震改修マークを交付し、その授与式を行いました。

交付を受けた建物は、東京都杉並区の「ライオンズマンション荻窪第2」及び「日の丸幼稚園」です。

来年1月の杉並区の耐震セミナーでは、日の丸幼稚園の見学会が行われる予定です。

プレートを受け取る
 鉄建建設株式会社
 市川 昌和氏
 （建築本部設計部担当部長
 構造設計グループリーダー）



耐震診断・耐震改修マークのプレート



目次：

JASO 耐震診断・耐震改修マーク表示プレート初交付	1
JASO 小規模鉄骨造建物の簡易診断実施要綱	2
JASO 地域ぐるみ耐震化研究会報告(第2回)	3
JASO共催セミナー報告 東京都マンション耐震セミナー 練馬区マンション耐震セミナー	4
JASO共催セミナー報告 杉並区マンション耐震セミナー	5
会員事務所ご訪～問！	6
HS会員ご訪～問！	7
お知らせ&スケジュール	8

JASOトピックス

9/4	JASO共催東京都耐震セミナー
9/4	JASO共催杉並区耐震セミナー
10/1	耐震改修マークプレート交付
10/3	JASO共催練馬区耐震セミナー
11/2	JASOセミナー 「建築物を守る耐震から 人を守る耐震へ」 矢野克巳
11/19	懇親会 (HS会会員交流会)
12/7	JASO忘年会

JASO小規模鉄骨造建物の簡易診断実施要綱 建築耐震アドバイザー（構造）原田 光政

1.はじめに

JASOが耐震アドバイザー派遣依頼を受けた鉄骨造建物は、総数62棟（H22/7現在）の内47棟（76%）が3階建て以下・延面積300㎡未満の小規模で、その用途は共同住宅・店舗・事務所である。この小規模鉄骨造建物47棟の内19棟（40%）で設計図・構造計算書が保存されていない。

現在、鉄骨造建物の耐震診断は、「耐震促進法」で定める鉄骨部材の寸法・形状・継ぎ手・接合部等における設計図との照合・確認等の実態調査が定められ、内装仕上げ材・耐火被覆材等の撤去・復旧が伴うことから、小規模建物では調査費が大きな負担となり耐震化が停滞しているのが実情である。

JASOでは小規模鉄骨造建物に限定した、簡略な実態調査に基づく「簡易診断要綱」によって安価で短期間に耐震性能の概略を把握し、民間建物の耐震化の流れを促進するべく各行政庁へ「小規模鉄骨造の簡易診断要綱」の採用を積極的に提案することとした。以下にその概要を紹介する。

2.対象建物

構造設計図が保管されている昭和56年以前に建設された建物で、3階建て以下・延面積300㎡未満の共同住宅・店舗・事務所用途の鉄骨造（原則として軽量形鋼除く）を対象とする。

3.簡易実態調査

- 1) 構造躯体調査項目
 - ①代表軸組みの形状・寸法
桁行き・梁間方向の代表軸組みについて柱間隔・階高等の設計図照合。
 - ②代表軸組み1階柱の傾斜量の下げ振り等による計測。
 - ③代表軸組み基礎の不同沈下量の水糸等による計測。
- 2) 建築計画、建築二次部材調査項目
 - ①既存不適格・法不適合事項の抽出。
 - ②ALC外壁・二次部材等の変形追従性。

4.診断の方法

- 1) 建物の耐震性能は、桁行き（X）方向・梁間（Y）方向の代表軸組みの保有水平耐力と地震荷重から、 I_s （構造耐震指標）・ q （保有水平耐力に係わる指標）を算定する。
- 2) 簡易診断で把握する耐震性能は、原則として3階建て建物では1階と3階・2階建て建物では1階の I_s および q を算出し、当該建物の耐震性を評価する。

5.保有水平耐力（ Q_u ）の算定

- 1) 長期荷重の梁端曲げ応力は、接合部をピンと見なし0と評価
対象建物が小規模であり、大スパンの梁を除いて梁の塑性ヒンジは梁端にあるとし、かつ、長期の材応力と地震荷重応力は外注・梁端で相殺する事から、長期応力は0と評価する。
- 2) ラーメン架構の保有水平耐力は、原則として接点振分け法にて算出する。
- 3) 柱脚の耐力評価は、実態調査による接合の確認をしていないためピン接合として扱う。
- 4) 地震用建物重量の算定は、ALC外壁のデッキ床スラブの場合2階・3階・R階とも張間1スパン架構の床面積単位重量を0.9 t/㎡、2スパン架構の場合は0.8 t/㎡とみなす。

6.部材の耐力算定

柱・梁・筋違の部材耐力は、設計図に基づき算定する。

7.接合部の耐力算定

柱・梁の接合部は設計図の記述如何に係わらず、実態調査を行っていないため脚長5mmの隅肉溶接とみなして耐力算定を行う。

8.靱性指標の評価

柱・梁の接合形状は隅肉溶接と設定しているため、柱貫通・梁通しに係わらず各層の靱性指標はF1.0とする。

9.簡易診断結果のまとめ

簡易診断の結果報告には、別紙「鉄骨造建物簡易診断一建物調査概要票」を用いて、建物概要・簡易実態調査項目と結果・建物概略床伏図および代表軸図・耐震性能の簡易診断結果等の説明に使用する。

10.精密診断の要否と概算見積

当簡易診断は、鉄骨の実態調査に基づく精密診断実施の要否判定の資料とするが、精密診断概算費用作成では、実態調査に伴う内装仕上げ材・耐火被覆材等の撤去・復旧並びに柱脚の調査項目・方法等につき、慎重な調査計画が必要である。



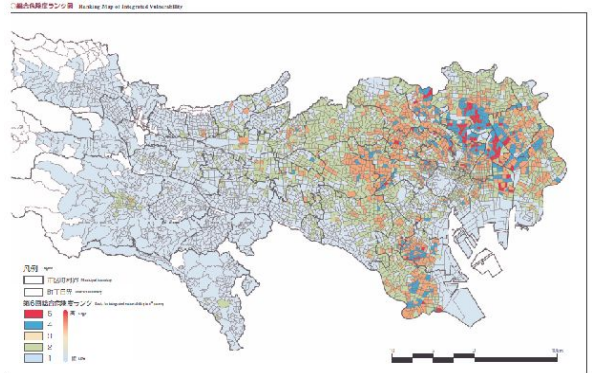
JASO地域ぐるみ耐震化研究会報告（第2回）

理事 河野 進

前回「ゆらゆら」第11号に、地域ぐるみ耐震化研究会をJASOの自主的な研究会として立ち上げた経緯と目的、更に研究会の進め方について書かせていただいた。毎月1回、アドバイザー会議の開かれる日の午前中を研究会の日としている。JASO会員以外にもJIAのメンテナンス部会、住宅再生部会、城南地域会員など、多彩なメンバーを含む20名ほどの参加者で議論を進めている。

1、研究会の進め方

研究会の活動の方向として、大きく二つある。先ず東京都の災害総合危険度が4～5に指定されている地域の中から研究対象地域を選定し、基礎資料の収集や現地調査を行い、その地域の防災上の問題点と、改善の方策を研究する。一方それらの活動の成果を各種のテーマに沿ってハンドブックにまとめ、各自自治体・市民に向けた広報ツールとするという事である。現段階で予め想定されるテーマ毎にハンドブックの目次立てと担当者を決める。対象地域の街歩きなど、現地調査の際も、担当者はテーマに沿った切り口からの資料集めと分析を行い、議論を主導し纏めると言う役割を持つ。調査活動とハンドブックに向けた纏めを、交互に有機的に行おうと言う目論見である。



2、地域の選定

東京都が平成20年度（第6回）に発表した総合危険度上位100町丁目のランクに含まれる町丁目の多い区は以下である。

足立18／荒川15／墨田14／台東11／品川・江東6／北・葛飾・豊島5
新宿・太田3／文京・渋谷・江戸川・中野2／目黒1 となる。

研究会員が住んでいるか、職場があるといった、地縁のある地域を研究対象に選び、その地域の属する行政（区）に協力が得られるかどうかを調べるようになった。これから先の研究の進め方として、地域内の建物・土地の様々な属性を調べる必要がある。建物毎の木造・非木造の種別は目視で見当が付くものの、建築年度や所有者、建築確認の有無などの情報や、前面道路の幅員や法的な位置づけなど、行政の協力無しには短時間で正確な情報を集める事はかなり難しい。また戸別にヒヤリングやアンケートを依頼するとしても、行政の協力（お墨付き）があるのと無いのでは、住民からの信頼度に大きな差が生じるであろう。杉並区の街づくり・防災担当者からのヒヤリングでは、杉並区は10年ほど前に、区内の木造密集地域を対象にコンサルタントに委託して同様の趣旨の調査をやっており、報告書も作られている。しかしざり事業化するとすると、財政上の問題もあって次の段階に中々進めないと言うことであった。我々の話に一定の関心は示したものの、調査に協力してもらおうというところでは、消極的な印象であった。新宿区でも中間報告を兼ねた話し合いを持ったが、当面協力は期待薄である。品川区・大田区などを含む城南地域会の会員が品川区にヒヤリングしたところ、対象地域の選定も含め、協力が得られそうと言う報告があり、当面対象地域を品川に絞って研究会を進める方向である。

順位	区市町村名	町丁目名	火災危険度(ランク)	順位	区市町村名	町丁目名	火災危険度(ランク)
1	品川区	豊町5丁目	5	51	品川区	戸越3丁目	5
2	新宿区	赤城下町	5	52	品川区	大井2丁目	5
3	品川区	二葉3丁目	5	53	中野区	上高田2丁目	5
4	新宿区	西条3丁目	5	54	文京区	千駄木5丁目	5
5	品川区	豊町6丁目	5	55	台東区	田中2丁目	5
6	品川区	豊町4丁目	5	56	豊島区	駒込4丁目	5
7	新宿区	西横町	5	57	文京区	堀堤2丁目	5
8	荒川区	荒川6丁目	5	58	品川区	小山2丁目	5
9	中野区	大和町2丁目	5	59	台東区	小島1丁目	5
10	品川区	戸越4丁目	5	60	品川区	西品川2丁目	5
11	豊島区	東馬場2丁目	5	61	中野区	橋台4丁目	5
12	品川区	戸越2丁目	5	62	江東区	北砂2丁目	5
13	品川区	東中環2丁目	5	63	渋谷区	本町2丁目	5
14	北区	上十条2丁目	5	64	品川区	西環町2丁目	5
15	足立区	千住柳町	5	65	足立区	関原2丁目	5
16	中野区	大和町1丁目	5	66	中野区	宇野1丁目	5
17	北区	十条仲原1丁目	5	67	品川区	戸越1丁目	5
18	品川区	即興4丁目	5	68	墨田区	東四つ木3丁目	5
19	品川区	中環2丁目	5	69	目黒区	目黒本町5丁目	5
20	足立区	柳原2丁目	5	70	北区	中十条2丁目	5
21	墨田区	墨田3丁目	5	71	江東区	大船町2丁目	5
22	中野区	野方2丁目	5	72	足立区	千住新町	5
23	文京区	大塚6丁目	5	73	杉並区	高円寺南3丁目	5
24	足立区	千住4丁目	5	74	墨田区	八広3丁目	5
25	品川区	豊町1丁目	5	75	中野区	橋台1丁目	5
26	墨田区	京島3丁目	5	76	豊島区	長崎町2丁目	5
27	北区	十条仲原3丁目	5	77	足立区	千住南町	5
28	中野区	橋台2丁目	5	78	江東区	北砂6丁目	5
29	杉並区	高円寺南3丁目	5	79	豊島区	新坂本町2丁目	5
30	足立区	千住大町3丁目	5	80	渋谷区	幡豆2丁目	5
31	台東区	錦糸1丁目	5	81	墨田区	深業2丁目	5
32	江東区	北砂4丁目	5	82	品川区	西品川1丁目	5
33	新宿区	柳町	5	83	新宿区	大久保2丁目	5
34	杉並区	即興谷2丁目	5	84	品川区	豊平1丁目	5
35	北区	北沢2丁目	5	85	豊島区	長崎町3丁目	4
36	中野区	大和町1丁目	5	86	目黒区	原町1丁目	4
37	品川区	西中環2丁目	5	87	新宿区	中町	4
38	墨田区	東船場1丁目	5	88	品川区	中島1丁目	4
39	杉並区	方南1丁目	5	89	台東区	橋本4丁目	4
40	品川区	豊の台4丁目	5	90	文京区	千駄木2丁目	4
41	荒川区	町屋2丁目	5	91	北区	中十条3丁目	4
42	豊島区	上海3丁目	5	92	杉並区	橋本2丁目	4
43	品川区	二葉4丁目	5	93	板橋区	橋本	4
44	北区	赤羽西4丁目	5	94	北区	志茂4丁目	4
45	墨田区	東馬場1丁目	5	95	豊島区	長崎町4丁目	4
46	中野区	西中環3丁目	5	96	中野区	中環町	4
47	中野区	野方1丁目	5	97	新宿区	高代町	4
48	荒川区	荒川13丁目	5	98	品川区	西尾2丁目	4
49	北区	滝野川1丁目	5	99	足立区	千住光明	4
50	豊島区	長崎3丁目	5	100	北区	志茂5丁目	4

3、ハンドブックの目次と体裁

「木造住宅密集地域の耐震化（災害対策）ハンドブック（案）」が三木哲さんから提案され、それに沿って担当者を決める作業に入ったところである。

*目次案

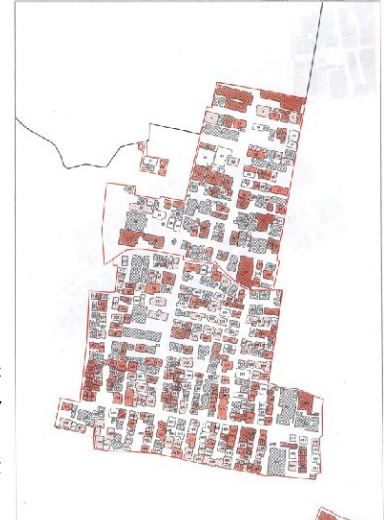
- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1.はじめに | 「単体建築」の耐震化から「建築群」の耐震化へ |
| 2.木造住宅密集地域とは | 対象地域の定義 |
| 3.密地域の居住者像 | 人口構成、コミュニティ、地域組織 |
| 4.木密ブロックの耐震区準 | 道路に囲まれた建築群ブロックモデル |
| 5.木密地域の耐震基準 | 道路を挟んで構成する建築群モデル |
| 6.木密地域のライフライン耐震基準 | 上下水道、都市ガス、電力、電話 |
| 7.木密地域の高齢者・耐震基準 | 地域の高齢者・災害弱者 |
| 8.木密地域の災害対策事業と組織 | 地域の運動をつくりだす |

*ハンドブックの体裁 A-4版 3～40頁

4、今後の進め方

来年は研究テーマと研究項目を再度整理し、ハンドブック執筆担当者を決定した上で、品川区を手始めに街歩きを始めた。前述したように、テーマを持って街歩きをし、新たなテーマを発見し議論を深める。可能であれば町内会の方々とも話し合いを持ち、行政の防災や街づくりの担当者も含めて、地域住民と一緒に街を歩くことも是非やりたいと考えている。研究会は途中からの参加も歓迎ですから、興味のある方は是非ご参加いただきたい。

新宿区分・構造区分による重ね図
S-1/1,500



**JASO共催
セミナー報告**

東京都 マンション耐震セミナー
9月4日 於：都議会議事堂1階 都民ホール

9月4日、毎年恒例となった東京都マンション耐震セミナーが開催されました。講師はJASO耐震判定委員会委員長の寺本隆幸氏（東京理科大学名誉教授）、耐震改修を行ったライオンズマンション小島町管理組合の山野井武氏、佐藤隆夫氏、JASO耐震アドバイザーの江守実氏が務めました。ライオンズマンション小島町管理組合の方は、診断から工事完了までの出来事を時系列で紹介され、管理組合の目線でマンションの耐震化の体験談を御披露されました。工事中の騒音対策などの苦労話や、資金計画と耐震改修におけるメリットをととても分かりやすくお話されました。

会場は盛況で、セミナー終了後のJASOの無料耐震相談会にも多くの方に参加していました。



東京都都市整備局住宅政策
推進部マンション課長
榎園 弘氏



寺本 隆幸氏



相談会の様子

**JASO共催
セミナー報告**

練馬区 マンション耐震セミナー
「自分たちで守る地震対策～マンション編～」10月3日 於：練馬区役所交流広場

10月3日、東京都練馬区ではじめてのマンション耐震セミナーが開催されました。JASOからは中田準一理事長、耐震アドバイザーの岸崎孝弘氏、坪内真紀氏が講師を務めました。

受講者からは構造に対する質疑が寄せられ、耐震診断への関心が非常に高いことが伺えました。セミナー終了後には無料の耐震相談会が行われました。



都市整備部
建築課長山崎氏



都市整備部
建築課安全係
藤本氏

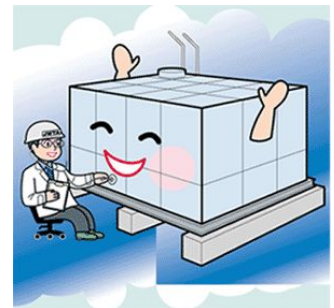


岸崎孝弘氏

JASO賛助会員からのお知らせ（広告）

給水タンクをいつまでもお使いいただくために……
「水槽診断士」ご存知ですか…？

給水タンクをいつまでもご使用いただくために、水槽診断士は、各種既設水槽の耐震診断・劣化診断を実施して補修や部品交換、あるいは水槽の更新などのご提案を通し、維持管理の向上に努めます。



日本給水タンク工業会

<http://www.kyuusui-tank.jp/>

加盟会社：

岩谷テクノ株式会社
積水アクアシステム株式会社
高柳産業株式会社
日進化成工業株式会社
株式会社ブリヂストン
三菱樹脂株式会社

川西市東久永1-2-5
大阪市北区大淀中1-1-30
愛知県額田郡幸田町大字上六栗字南山4
福岡市東区箱崎ふ頭6-6-27
東京都中央区八重洲1-6-6
東京都中央区日本橋本石町1-2-2

TEL072-759-4781
TEL06-6440-2521
TEL0564-62-0634
TEL092-641-5551
TEL03-5202-6863
TEL03-3279-6763

**JASO共催
セミナー報告****平成22年度 第1回杉並区マンション耐震セミナー
「マンションの大規模修繕と補強工事」
9月4日 於：西荻南区民集会所**

平成20年9月4日に、今年夏の杉並区のマンション耐震化セミナーが開催されました。今年冬の耐震セミナーに引き続き、耐震補強工事例の見学会が同時に行われました。

今回のセミナーで取り上げられた、マンション「西荻ローヤルコーポ」は平成20年のアドバイザー派遣をきっかけに、耐震化を検討・実施してきた杉並区マンションで、9月に耐震補強工事が完了しました。

セミナー当日は杉並区の管理組合役員などの出席が多数あり、西荻ローヤルコーポの理事長様がお話したほか、JASOからは副理事長の三木哲氏と、西荻ローヤルコーポの構造担当として診断・設計・監理に携わった高橋達夫氏、設備設計・監理担当の柳下雅孝氏がこれまでの道のりについて技術的なお話をしました。

西荻ローヤルコーポは、昭和44年竣工の5階建て23戸のマンションで、そもそも大規模修繕工事の実施検討を契機に、杉並区の広報紙に耐震アドバイザーの無料派遣の案内があったのを、管理組合の役員が御覧になり、「大規模修繕工事の前に耐震の事も考えなければ。建物をきれいにしても元が壊れてしまっではしょうがない」と考え、アドバイザー派遣を受けられたそうです。その後、簡易診断、精密診断と杉並区の耐震化支援事業のステップに沿ってプロジェクトが進みました。当初予定していた大規模修繕工事を後倒しし、精密診断を実施し、その結果を元に補強設計・補強工事を行いました。補強設計時に大規模修繕工事の準備（建物劣化調査診断、長期修繕計画の作成と工事資金計画の検討、大規模修繕工事の実施設計）を実施し、最終的にこの工事は、大規模改修工事の一環として「耐震補強工事」を実施する、という総合的改修工事になりました。

杉並区のアドバイザー派遣から始まったこのプロジェクトでは、一環してJASO担当者が技術的な支援を行い、大規模改修工事は12月に竣工し、3年間のプロジェクトに幕をおろしました。

(江守実実：計画担当)

JASO賛助会員からのお知らせ（広告）



工事前



工事中



工事後(外付SRC造耐震フレーム)



セミナー見学会の様子

**建設関連情報を満載し、毎朝、
あなたのデスクへお届けします**

建設通信新聞
Architectures, Constructions & Engineerings.

A2判/日刊全国紙/10頁建(随時特集増頁)
購読料=1ヵ月8,925円(税込)
半年53,550円(税込)
1年107,100円(税込)

行政・経済・工事ニュース・技術・製品・労務安全環境・人事・海外など、建設業に関係するすべての情報を、本社、全国12支社・支局を駆使して収集・提供しています。



日刊建設通信新聞社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-13-7 名古屋ビル本館
TEL03(3259)8711 FAX03(3259)8730 <http://www.kensetsunews.com>

会員事務所ご訪問！

番外編 判定委員ご訪問！

皇居の二重橋など橋梁築造や佐世保鎮守府軍港も手がけた久米民之助の次男として1895年（明治28年）に久米権九郎（くめぐんくろう）は東京に生まれる。28歳のときにドイツに渡りシュツットガルト州立工科大学で建築を学んでいるので、ミス・ファン・デル・ローエが中心となり、ル・コルビュジエも参加した1927年（昭和2年）のヴァイセンホーフ・ジードルンク住宅展を現場で見ていることになる。日本の木造建築と西洋型合理性を組み合わせた久米式耐震木工構造を開発し、「耐震法による日本住宅の改良」の研究で工学博士を授与された。帰国後の1932年（昭和7年）に久米建築事務所を開設し、日光金谷ホテル、軽井沢万平ホテルなどが誕生していくことになる。戦後復興期には、集合住宅のプロトタイプとなる公営住宅の標準設計を積極的に取り組み、大阪市営古市住宅団地など日本の街づくり・都市づくりに大きく貢献している。

早稲田大学で建築を学んでいた梅野岳はデザイン志向でアトリエ系設計事務所に行こうと考えていた。しかし誰もがデザイナーとして大成できるわけではない…そんな思いの中、内藤多仲ゆかりの構造研究室をのぞいてみることになる。日本の耐震構造の父と言われる人だ。そこで出会った研究室の仲良し3人は、やがて組織事務所を志向し、各々、日本を代表する設計事務所へ進んでいく。梅野が久米設計に進んだのは、なんと3人でじゃんけんをして決めた結果だとか。

1994年（平成6年）12月28日、青森県八戸市の東方沖180kmのごく浅い震源でマグニチュード7.6の三陸はるか沖地震が発生する。最大震度は八戸市の震度6。十勝沖地震でダメージを受け耐震補強を行った庁舎がまた被害を受ける。この顛末についてNHKのインタビューを受ける予定が突然キャンセルとなる。阪神淡路大震災の発生である。それまで耐震診断を積極的に行っていなかった梅野もJSCA（日本建築構造技術者協会）による芦屋市内の建物の被災度判定全数調査の事務局をかってでる。一時は大阪市内に詰め、富山の現場から防寒具を調達し、部屋が空いていた高級ホテルをしかたなくねぐらとした。

また、被災建物の象徴にもなった三ノ宮のデパートは会社の業務として内部被災状況の調査に従事する。

第6回 株式会社久米設計 （梅野 岳氏）

久しぶりに東京に戻るとまわりの建物が倒れてくるように見えたほどだったという。

旧耐震建物を早く補強すべきとの使命に駆られた梅野はJASOの簡易診断事業の立ち上げにも全面的な力添えを惜しまなかった。自治体契約の第1号となる杉並区とも打ち合わせを重ねて今日のJASOの軌道づくりに汗を流した。その後はJASOの判定委員会に招へいされ、活躍している。

ここのところ判定委員会に精密診断が持ち込まれることが多くなってきたが、JASOの構造設計者がすべて耐震診断のスペシャリストとは限らない。スキルアップの余地はまだまだありそうだ。マンションの耐震補強において管理組合の合意形成にはJASOは大きく貢献しているといえる。さらに前進していくには、クライアントとちゃんとしゃべれる構造設計者を増やすか、構造をある程度わかる意匠設計者と設備設計者を増やすことがのぞまれる。（宮城秋治）



JR潮見駅からほど近い久米設計本社。西側は運河に面していてウォータフロントのデザインになっている。



内部空間を大きく吹き抜けるアトリウム。梅野が大好きな距離感が保たれている。

このコーナーではJASOの会員事務所を訪問し、最近の動向などについてお伺いします。皆様ご協力をお願いします。

HS会員様ご訪問～問！

第6回 日本BAC株式会社

高度な情報社会を災害から守る

「氷蓄熱ユニット」

今回はビルなどの冷熱源である「氷蓄熱ユニット」メーカーとして国内トップシェアを誇る日本BAC株式会社の秦野工場におじゃまいたしました。

ライフラインというと、水道・電気・ガス・通信などに視点が集まりがちですが、高度な情報化社会である現代においては、電算センターなどにある大型コンピューターを災害時にも滞りなく稼働させることが必要で、緊急時の冷熱源が必要です。

インターネット、金融機関の即時決済、電子商取引などはもはや当たり前の世の中になり、それには大型のコンピューター施設が必要になります。当然、そのような施設には高レベルな耐震対策がなされておりますが、冷熱源を電気やガスや自家発電に頼り切っているのは、どうしても限界があります。

日本BACの「氷蓄熱ユニット」は、ビルの地下ピットなどを利用し「氷」の状態冷熱源を確保するもので、容量にもよりますが長時間の冷熱源を確保することができます。阪神淡路の大震災においても特に大きな被害を受けなかった実績もあり、企業のBCP（事業継続計画）という観点からも、頼もしい設備といえます。

また、蓄熱運転は電気代の安い夜間を利用するので、設備容量が小さくなり経済的ですし、昼間の電力負荷ピーク時にも優しいので地球温暖化対策にも寄与できるシステムなのです。

環境負荷の低減と情報化社会を守る装置として、これからの発展が期待されます。

（柳下雅孝）

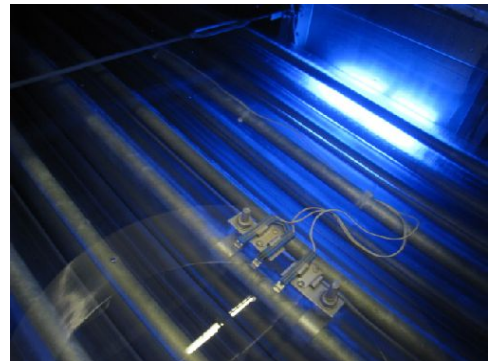
取材協力：日本BAC株式会社

<http://www.bacj.co.jp/> 03-5450-6161

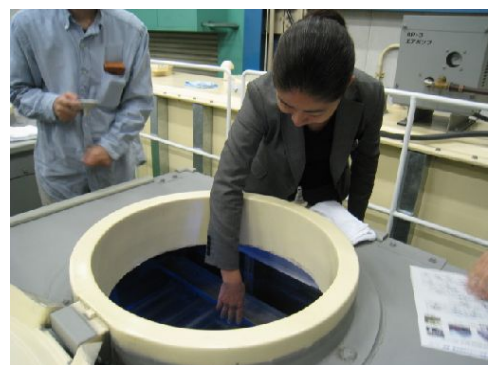
このコーナーではJASOの法人会員・賛助会員の会社を訪問し、耐震への取組状況についてお伺いします。皆様ご協力をお願いします。



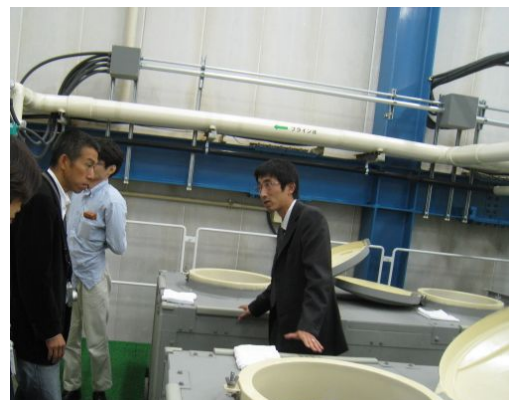
秦野市にある工場と実験施設



蓄熱槽内のコイルと水



蓄熱槽内の冷たさを体験



熱心に説明して下さった八重樫聖一課長

.....お知らせ.....

東京都マンション耐震セミナー 東京都・首都圏マンション管理士会共催

JASO特別会員の矢野克巳氏が講師を務めます。

- ・建物と人を守る耐震化（矢野克巳）
- ・なぎさニュータウンの耐震改修の取組（宮田節男）
- ・合意形成のポイント（親泊哲）

日 時：平成23年1月15日（土）13：30～17：00
 会 場：都議会議事堂1階都民ホール（東京都新宿区西新宿2-8-1）
 参加費：無料
 申 込：所定の用紙にてFAXまたはインターネットで申し込み（先着250名）
 申込先 首都圏マンション管理士会 Tel03-3256-6432 <http://www.kanrisi.org/>

杉並区マンション耐震セミナー 見学会&セミナー

「耐震補強計画設計の問題点と合意形成」と題して、ライオンズマンション荻窪第二管理組合・鉄建建設をお招きし、JASO三木哲がコーディネーターを務めます。

日 時：平成23年1月16日（日）
 会 場：あんさんぶる荻窪 他見学会
 参加費：無料
 申 込：所定の用紙にてFAXで杉並区に申し込み（予定）
 ※詳細未定

（独）建築研究所 研究成果報告会

「地震後すぐに使用できる建築物の実現を目指して」

—建築物の機能性に対する多様なユーザーニーズに応える新たな耐震性能評価システムの開発—

JASOが委託を受けて2007年から3年間にわたって調査研究の一部を分担し協力した（独）建築研究所の研究成果報告会が行われます。

- 新たな評価システムに必要なデータベースの構築
- 新たな評価システムを利用した機能回復性評価手法と評価事例
- 新たな評価システムにおける耐震性能の表示手段

日 時：平成23年1月28日（月） 午後1時～6時
 会 場：建築会館ホール（東京都港区芝5-26-20）
 参加費：無料（事前申込必要）
 申 込：FAXまたはEメールにて氏名・所属先・連絡先を明記の上申込（先着180名）。
 FAX：029-864-6773 Eメール：brisympo@kenken.go.jp

2010～2011年 JASO 行事スケジュール		
12月	12/7 (火)	地域ぐるみ耐震化研究会・非木造アドバイザー会議・JASO忘年会
	12/21 (火)	非木造耐震簡易診断審査委員会
1月	1/11 (火)	地域ぐるみ耐震化研究会・非木造アドバイザー会議
	1/15 (土)	東京都マンション管理士会耐震セミナー
	1/16 (火)	杉並区マンション耐震セミナー
	1/18 (火)	非木造耐震簡易診断審査委員会
2月	2/8 (火)	地域ぐるみ耐震化研究会・非木造アドバイザー会議
	2/20 (日)	練馬区マンション耐震セミナー
	2/22 (火)	非木造耐震簡易診断審査委員会

スケジュールは随時更新いたしますので、アドバイザー会議等にてご確認下さい。